# 天文学の扉を開こう

## 8月の夜空

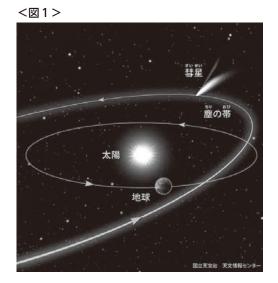
#### 【ペルセウス座流星群】

流れ星が最も多く流れる極大は日本時間の8月13日午前10時ごろと予想されています。この時刻は昼間なので、観察するなら12日の午後9時ごろから明け方にかけてがよさそうです。可能であれば、放射点が高くなる12日深夜がベストです。ただし、今年は満月が一晩中輝きますので、月が視界に入らない方向を広く眺めると良いでしょう。

さて、どうして流れ星は毎年決まった時期にたくさん流れる のでしょうか?

流れ星は、宇宙空間に漂う砂粒から小石くらいのサイズの塵が、地球の大気に飛び込んできて発光する現象です。流星群の元になる塵はスイフト・タットル彗星 から放出されたもので、彗星の通り道である軌道周辺に帯のように漂っています。この大量の塵の中を地球が毎年横切るため、決まった時期にたくさんの流れ星が見えるのです(図 1)。

\*1:太陽の回りを約130年周期で公転し、前回1992年、次回2126年の回帰です

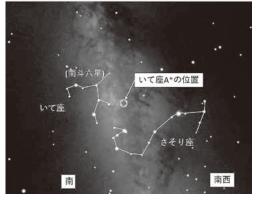


#### 【いて座、さそり座、天の川】

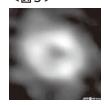
いて座は、さそり座の東(向かって左)にある上半身が人間、下半身が馬という星座です。いて座が構えた弓矢は、サソリが悪さをしないように、その心臓・アンタレスをしっかりと狙っています。いて座の腕と弓の部分の星を南斗六星といい、いて座を見つけるときの目印です。形は北斗七星に似ていますが2等星の多い北斗七星に比べ3等星中心の南斗六星はあまり目立ちません。

この季節よく晴れた月のない夜には、天の川がさそり座やいて座のあたりから夏の大三角の中を通って、北のカシオペヤ座のほうまでうす雲の連なりのように見えます。天の川の正体は、太陽を含む数千億もの星の大集団「天の川銀河」を内側から見た姿です。

<図2> 8月15日21時の星空



<図3>



天の川銀河の中心は、ちょうどいて座とさそり座の中間あたり、地球から約2万7千光年の距離にあります。そこには、太陽の約4百万倍もの質量を持つ、超巨大ブラックホール「いて座 $A^*$ (いて座エースター)があります(図3)。5月のニュースで「初めて映像を捉えた」と話題になりました。

## 8月の星空

8月15日午後9時の高山村の星空。 月初めの午後10時、月末の午後8時頃 にも同じ星空になります(「月」を除く)。







## 地域おこし協力隊 メンバー紹介

現在の高山村地域おこし協力隊は 5名。今回は、9月にオープンする 「さとのわ」に携わる5名に、 おもにどのような活動を行ってい るか、インタビューしました。





### 西山 大樹(にしやま だいき):大阪府出身

## 【さとのわラウンジ】



☆人と人との繋がりの場・きっかけ をつくるためのイベント企画や、 「おためし地域おこし協力隊」を 実施しています。

☆下記のイベントも、皆様の参加お 待ちしております。

#### 高山村100人カイギ開催決定! イベント情報

10月頃より、高山村に住む・関わる人が、ゆるやかにつながる場所を 作るため、『高山村100人カイギ』を、さとのわで定期開催します。

参加費は、1ドリンクがついて1.000円です。ゲストスピーカーは5名。 ゲストスピーカーと参加者で語り合う機会も設けます。

なかなか知ることのない高山村の素敵な人たちと出会える場をつくっ ていきますので、気軽にお越しください。

9月号にて、ゲストスピーカーや詳細をお伝えします。



## 大澤 雅美(おおさわ まさみ):大阪府出身

## 【さとのわラウンジ だんだん広場

☆高山村の魅力を発信しながら、 村内外の人の輪が繋がる場づく りを続けていきたいです。 チラシや施設内のデザイン全般 にも携わっています。





## 城 智子(じょう ともこ):千葉県出身





## 【さとのわカフェ】

☆高山村の食材を使ったカフェ メニューを考えながら、 『たからの再発見』を目指し、 さとのわが高山村の「美味し い旬の発信場」となるように 頑張っています。

### 西角 麻美子(にしかど まみこ):埼玉県より移住

## 【さとのわカフェ】【高山産のワインプロジェクト】

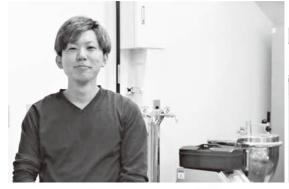
☆さとのわオープンに向けて、 カフェメニューの開発や試作の 補助をしています。

☆高山村で育てたブドウを使った ワイナリーを開業し、各地へ 広めていきたいと考えています。





## 黒岩 也晃(くろいわ なりあき):沼田市出身





## 【さとのわフードファクトリー】

☆高山村の食材をまんべんなく 使い、皆様に愛される さまざまな加工品をつくって いきたいと思っています。 カフェで使用するソースや ペーストも考えています。





次号(9月号)は、地域活性化企業人として「高山村」に携わる2名と、 地域おこし協力隊の他「さとのわ」に携わる方々をご紹介します。